

湧水保全・復活ガイドライン

# 資料編

## 資料編 1 湧水事例集

湧水事例集は、所在地、湧水タイプ、着目した8つの視点で分類し、各地域の保全・復活活動や地域住民との連携、保全・復活に対する条例の制定などの取組みについて、とりまとめたものである。

No	湧水名称	所在地	湧水タイプ	ページ
1	羊蹄のふきだし湧水	北海道虻田郡京極町	火山タイプ	78
2	琵琶沼	秋田県横手市	湿地、池タイプ	79
3	六郷湧水群	秋田県仙北郡美郷町	扇端タイプ	80
4	丸池様、牛渡川	山形県飽海郡遊佐町	火山タイプ	81
5	喜多方市の湧水群	福島県喜多方市	傾斜丘陵地タイプ	82
6	中田地区の清水	福島県郡山市	谷頭タイプ	83
7	黒浜貝塚湧水池	埼玉県蓮田市	湿地、池タイプ	84
8	入間市の里山湧水	埼玉県入間市	崖線タイプ、谷頭タイプ	85
9	風布川・日本水	埼玉県大里郡寄居町	谷頭タイプ	86
10	市川市湧水群	千葉県市川市	湿地、池タイプ	87
11	生きた水・久留里	千葉県君津市	傾斜丘陵地タイプ(自噴)	88
12	日野台地の湧水群	東京都日野市	崖線タイプ	89
13	国分寺崖線湧水群	東京都国分寺市	崖線タイプ	90
14	秦野湧水群	神奈川県秦野市	扇端タイプ	91
15	殿様清水(とのさましょうず)	富山県富山市	扇端タイプ	92
16	大野市の湧水群	福井県大野市	扇端タイプ	93
17	八ヶ岳南麓高原湧水群	山梨県北杜市	火山タイプ	94
18	郡上八幡の湧水他(宗祇水(そうぎすい))	岐阜県郡上市	傾斜丘陵地タイプ(伏流水)	95
19	小浜池湧水他	静岡県三島市	火山タイプ	96
20	柿田川湧水群	静岡県駿東郡清水町	火山タイプ	97
21	蛍流公園の石清水	愛知県岡崎市	傾斜丘陵地タイプ	98
22	小堤西池湧水湿地	愛知県刈谷市	湿地、池タイプ	99
23	曾爾高原湧水群	奈良県宇陀郡曾爾村	湿地、池タイプ	100
24	布勢の清水	鳥取県鳥取市	傾斜丘陵地タイプ	101
25	別府弁天池湧水	山口県美祢市	その他(石灰岩地域)	102
26	西条市のうちぬき	愛媛県西条市	傾斜丘陵地タイプ(伏流水)	103
27	縫ノ池(ぬいのいけ)	佐賀県杵島郡白石町	湿地、池タイプ	104
28	六嘉湧水群・浮島	熊本県上益城郡嘉島町	火山タイプ	105
29	志布志市の湧水群	鹿児島県志布志市	火山タイプ(崖線)	106
30	荻道大城湧水群	沖縄県中頭郡北中城村	その他(石灰岩地域)	107

湧水タイプ							ガイドラインで着目した8つの視点※								No
崖	谷頭	湿地・池	扇端	火山	傾斜	他	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
				○			○		○		○	○			1
		○					○		○		○	○	○	○	2
			○				○		○		○	○	○	○	3
				○			○				○	○	○		4
					○		○		○		○				5
	○						○				○	○		○	6
		○					○		○		○	○	○	○	7
○	○						○					○	○	○	8
	○						○				○	○			9
		○					○		○		○		○		10
					○		○				○	○	○	○	11
○							○		○		○		○	○	12
○							○	○	○	○		○			13
			○				○		○		○	○			14
			○				○		○			○			15
			○				○			○	○		○		16
				○			○		○	○			○		17
					○		○				○	○	○	○	18
				○			○			○	○	○	○	○	19
				○			○	○			○	○	○	○	20
					○		○				○	○	○		21
		○					○		○	○	○				22
		○					○				○		○	○	23
					○		○				○	○	○		24
						○	○				○	○			25
					○		○	○	○	○	○	○	○	○	26
		○					○				○	○			27
				○			○	○			○	○	○		28
				○			○					○	○	○	29
						○	○			○	○	○	○		30

※：(1)湧水の保全と復活事例の活用、(2)かん養域の視点からの広域的連携、(3)モニタリングと効果検証、(4)関連する組織(産・官・学・民)での役割連携、(5)地域住民の参加と協働、(6)地域づくり施策等との連携、(7)環境教育・人材育成、(8)情報の共有化と合意形成

ヨウテイ ユウスイ  
**1. 羊蹄のふきだし湧水（北海道虻田郡京極町）** ・名水百選

火山タイプ



<羊蹄のふきだし湧水>



<周辺地図>

◆湧水の概要

「羊蹄のふきだし湧水」は、羊蹄山山麓の湧水の一つで、山に降った雨や雪が数十年の歳月をかけて地下に浸透し湧き出した湧水である。湧水は「ふきだし公園」内にあり、この公園は北海道自然環境等保全条例に基づく環境緑地保護地区として、周辺の自然環境が保全されている。

羊蹄山山麓の湧水は、羊蹄山に降った雨や雪解け水がろ過され、地中のミネラルを加えながら数十年という長い時間を経て流れ出る湧水である。この中でも、「羊蹄のふきだし湧水」は国内最大級のものと言われ、1日の湧水量は約8万m<sup>3</sup>である。

◆湧水の利活用等

湧水の温度は四季を通しほぼ一定の6～7℃で、一日約8万m<sup>3</sup>名水が文字通り吹き出している。公園そのものが多くの観光客・行楽客を集める憩いの場所として有名であり、質・量ともに豊かな湧水は水道や工業用水としても使用されている。

◆湧水保全・復活の主な取組

1) 観光資源としての活用

羊蹄山の伏流水が湧出する周辺を、「ふきだし公園」として整備しており、おいしい水とされる湧水が絶え間なく湧き出る公園は「名水の里」として多くの人に親しまれており、湧水の採水スペースが設置されている。

「羊蹄のふきだし湧水」は、一日約8万m<sup>3</sup>もの湧水が湧き出し、近隣自治体の水源から市販のミネラルウォーターまで幅広く用いられており、「京極のふきだし湧水」として「北海道遺産」にも選定されている。

項目	測定値
検査日	平成21年9月1日
水温	6.9℃
一般細菌	0個/ml
大腸菌	0MPN
塩化物イオン	5.7mg/l 未満
カルシウム・マグネシウム等(硬度)	20mg/l
蒸発残留物	90mg/l
有機物(全有機炭素の量)	0.12mg/l
pH値	7.15
臭気	異臭気なし
色度	1度未満
濁度	0.1度未満

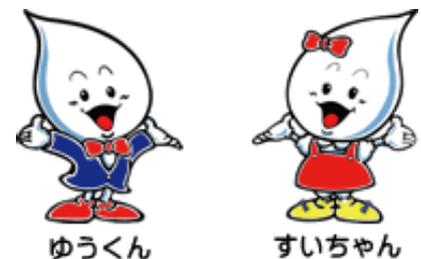
<ふきだし湧水の水質検査結果>

2) 地域づくり施策との連携

平成3年、京極町はイメージアップのため、全国のアマチュアデザイナーに、「羊蹄のふきだし湧水」のキャラクターを公募し、観光協会の役員会で選考が行われた。

キャラクターの名前は、広く町民から公募し、「覚えやすさ、親しみやすさ、かわいらしさ」などの理由から、「ゆうくん・すいちゃん」と名づけられている。由来は「湧水(ゆうすい)」である。

イメージキャラクターとして、京極町の郵便封筒、道の駅のスタンプなどに用いられてるなど、地域づくり施策に活用し、イメージアップを図っている。



<ゆうくん・すいちゃん>

3) 名水を活かした特産品開発

道の駅「名水の郷きょうごく」は、京極町と倶知安町を結ぶ道である京極倶知安線に位置し、ふきだし公園内にある「羊蹄のふきだし湧水」を求める多くの観光客が訪れている。

道の駅内のレストランでは、名水を使ったラーメンやそば、コーヒーを食べることができ、特産品販売コーナーでは、名水を使ったミネラルウォーターやコーヒー、コーヒーゼリー、「名水酒」などの特産品の販売が行われている。

・北海道遺産(次の世代に残したい北海道の宝物)に認定、「水の郷百選」(平成7年・国土庁)に認定  
 ・引用・参考文献:(1)名水百選, 環境省ホームページ,(2)京極町ホームページ,(3)北海道遺産, NPO法人北海道遺産協議会事務局ホームページ  
 ・関連機関:京極町, 京極町観光協会 など

ピワヌマ  
2. 琵琶沼（秋田県横手市）

湿地・池  
タイプ



<琵琶沼>



<周辺地図>

◆湧水の概要

横手盆地のほぼ中央に位置する「琵琶沼」は、湧水を水源としている。紀行家・菅江真澄は『形は琵琶のごとく』と記し、泉の里とたたえた。

沼には、清涼な水にしか生息しないトゲウオ科魚類のトミヨとイバラトミヨが生息し、背中に棘を持つことから地元の人はハリザッコと呼ぶ。二種類のトゲウオが混生する全国唯一の生息地で、平成10年に「トミヨ及びイバラトミヨ生息地」として、秋田県指定天然記念物に指定された。

貴重な湧水とトゲウオを守ろうと、住民によるクリーンアップ活動や、横手市教育委員会文化財保護課による、定期的な地下水位の測定、パトロールが行われている。

◆湧水の利活用等

「琵琶沼」周辺は、湧水が数多く点在し、古くから人々の生活に密接に関わってきた。生活用水、農業用水、浅舞絞りに染めで知られる染色業、酒造業にも使われ、過去には染屋が12件、酒屋が12件あったといわれる。

◆湧水保全・復活の主な取組

1) 地域住民との協働

「琵琶沼」の貴重な資源を守ろうと、周辺住民や「琵琶清水の会」によりクリーンアップ活動が行われている。

「琵琶清水の会」は、希少生物であるトゲウオが生息する「琵琶沼」とその周辺のクリーンアップを10年以上にわたり実施しており、トゲウオの生息環境保全と琵琶沼の文化財指定、地域のイメージアップにつながる活動を通じ、水環境の保全に努めている。

2) 環境教育

トミヨ及びイバラトミヨの生息地である「琵琶沼」の大切さを小学生へ伝えるために、環境教育の一環として、環境保護啓発ポスターの作成のコンクールを行っている。

ポスターの内容は、ハリザッコ生息地（秋田県指定天然記念物トミヨ及びイバラトミヨ生息地）の保護に関連するものとし、コンクールは、地元小学校の5・6年生を対象としている。

3) 情報発信

国土交通省湯沢河川国道事務所では、「琵琶沼」を含めた雄物川流域に生息しているトミヨ属を広報するために、ホームページ上に「イバラトミヨの観察日記」を公開し、トミヨ及びイバラトミヨの情報を発信している。

また、イバラトミヨの観察日記を取りまとめた「月刊 イバラトミヨ情報」も発行している。



<環境保護啓発ポスターの作成コンクール>

▶ イバラトミヨの観察日記



トミヨ属は背鰭前方に独立した8~11本の棘があり、一生を淡水で過ごします。果作りをすることも知られていますが、全国的に著しく減少しており、早急に保護する必要があります。雄物川水系とその周辺にある湧水地帯には、トミヨ属の「淡水型」と「雄物型」が生息しています。

雄物川の名前が付いた「イバラトミヨ雄物型」

最近の研究により、トゲウオの仲間はいくつかの型に分けられるようになりました。

<イバラトミヨの観察日記>

- ・「トミヨ及びイバラトミヨ生息地」として秋田県指定天然記念物に指定
- ・引用・参考文献：(1) 横手市観光情報（琵琶沼）、横手市ホームページ、(2) イバラトミヨの観察日記、国土交通省湯沢河川国道事務所ホームページ
- ・関連機関：横手市、国土交通省湯沢河川国道事務所 など



<御台所清水>



<周辺地図>

#### ◆湧水の概要

美郷町の東側に広がる扇状地面で涵養された地下水が、扇の要に当たる六郷地区で湧水が湧出している。六郷湧水群内では、多数の湧水が確認されており、美郷町観光協会ホームページに水量・水質のデータが公開されている。

この湧水群には清涼な水にしか生息しないといわれているトゲウオ（イバラトミヨ）が生息しており、町ぐるみで湧水群の保全に努めている。

#### ◆湧水の利活用等

美郷町の六郷地区は古くから「百清水」と呼ばれ、無数の豊かな湧水に恵まれた土地として知られており、洗い場用や飲料水用として活用されてきた。六郷地区では、生活用水のほとんどが地下水で賄われており、現在でも人々の生活に密着している。この豊かな水を利用して、名水豆腐、ニテコサイダーなどの清涼飲料水、日本酒などが製造・販売され、産業振興が図られている。また、これらの湧水を含む地下水を保全するため、「美郷町水環境保全条例」が制定されている。

#### ◆湧水保全・復活の主な取組

##### 1) 地下水人工涵養事業・地下水位のモニタリング

六郷地区の地下水の水量を持続的に確保するため、地下水のかん養域である、扇状地の扇央に4箇所の池を設置し、非灌漑期に農業用水を給水し、地下に浸透させ、地下水位の上昇に努めている。

地下水位の常時モニタリングを実施し、地下水位計を設置して、目に見える形で町民への地下水対策の啓発を実施している。



<地下水の人工涵養池>



<地下水位計>

##### 2) 水環境保全条例の制定

美郷町では、これまで水環境の保全について様々な取組みが行なわれてきたが、ゴミの不法投棄などにより、水環境が悪影響を受けることが懸念されてきた。このため、美郷町、町民、事業者等が水環境の保全について共通認識を持ち、それぞれの立場で具体的な活動に取組み、将来にわたる水に対するイメージを醸成するため、「美郷町水環境保全条例」が制定され、平成20年4月1日から施行されている。

平成21年度事業では、水環境に対する感謝の気持ち、水を大切にする意識の啓発、そして保全活動への参画につなげていくため、水環境保全の取組みを3つのプロジェクト（「水を守ろう」、「水を学ぼう」、「水を楽しもう」プロジェクト）に分類し、各部署が横断的に連携して湧水保全・復活対策に取り組んでいる。

##### 3) 名水を活かした中心市街地活性化事業

美郷町では貴重な財産である湧水を活用し、中心市街地の魅力を創造することにより、買い物客の流出を防ぎ、新たな観光客の誘客を目的として、名水を活かした中心市街地活性化事業が展開されている。

六郷湧水群の名水を活かした流しソウメンなどが食べられる「ニテコ名水庵」、六郷の湧水を活用した特産品販売施設、六郷の湧水や地下水を始めとした水に関する学習ができる施設（水文館）を兼ね備えた、「名水市場湧太郎」などが整備され、分散していた湧水群と商店街をつなぎ、ネットワーク化が図られている。

これらの取組みは、地元住民等が出資したTMO※である「六郷まちづくり株式会社」が主体となり、住民や団体、行政が連携・協働して町おこしを実施し、保全活動に取り組んでいる。



<名水市場「湧太郎」>



<水文館（湧太郎内）>

- ・5つの百選に認定：「名水百選」（昭和60年・環境庁）、「水の郷百選」（平成7年・国土庁）、「水源の森百選」（平成7年・林野庁）「蘇る水百選」（平成12年・建設省）、「遊歩百選」（平成14年・読売新聞社）
- ・引用・参考文献：（1）美郷町ホームページ・広報誌、（2）清水（湧き水）を活かしたまちづくり、日本地下水学会ホームページ、（3）名水百選、環境省ホームページ
- ・関連機関：美郷町、美郷町観光協会 など

マルイケサマ ウシワタリガワ  
**4. 丸池様、牛渡川（山形県飽海郡遊佐町）**

火山タイプ



<丸池様（左）、牛渡川（右）>



<周辺地図>

◆湧水の概要

「丸池様」は、牛渡川に隣接する神聖な池とされ、この水をつけるると目が良くなるなどの伝説がある。「丸池様」は湧水のみで出来ている池であり、池に沈んでいる倒木が腐らないのは、湧水が絶えず循環しているためであるとされている。また、「丸池様」の周辺の原生林は、遊佐町の天然記念物に指定されている。

「牛渡川」には鳥海山の湧水が流れ込んでいる。スナヤツメ、カンキョウカジカ、アユカケなど希少な魚も多く、豊かな自然環境が形成されている。

◆湧水の利活用等

遊佐町内全域には、各地に湧水や自噴井戸があり、飲料水、スイカなどの冷却、野菜や海草洗いなどに使われる等、人々は何代も続いて相互の水の汚れを防ぎながら、湧水を大切に利用してきた。

遊佐町環境基本条例では、「湧水地域等における多様な自然環境の保全を図ることにより、野生生物の種の保存をはじめ生態系の多様性の確保に努め、人と自然が健全に共生することのできる良好な環境を確保すること」と定められており、条例により、湧水地域等における多様な自然環境の保全を図ることが定められている。

◆湧水保全・復活の主な取組

1) かん養域の保全

鳥海山の湧水を保全する目的で胴腹滝周辺環境保全協議会が立ち上がり、かん養域の保全が行なわれている。この協議会は、上流域で行われている岩石採取について採石業者と協定を結ぶ等、環境保全の活動を行っている。

また、NPO 法人鳥海自然ネットワークは、40a のトラスト地を取得して、森林保全活動に取り組んでいる。

2) 湧水を観光資源として活用

「丸池様」は湧水で形成された神聖な池として、「牛渡川」は湧水が流れ込み、イバラトミヨなど希少な魚が多く、有名になったことから、湧水めぐりのツアーが組まれており（NPO 法人 遊佐鳥海観光協会主催）、観光資源としても活用している。

3) 湧水保全フォーラムの開催

「湧水の里」遊佐町と呼ばれるようになって以来、「湧水保全交流フォーラム（1999年実施）」、「湧水保全フォーラム in ゆざ：ざわめく自然をめぐって（2006年実施）」が開催されている。

フォーラムでは、湧水の保全に取り組む人たちや全国の研究者、遊佐町民が集い、研究事例発表、意見交換などを通じて、地域が一体となった湧水保全のあり方を探っている。



<紅葉の里山と湧水めぐり 内容>



<湧水保全フォーラム in ゆざ：ざわめく自然をめぐって>

- ・「水の郷百選」（平成7年・国土庁）に認定
- ・引用・参考文献：（1）遊佐町ホームページ、（2）遊佐町広報、（3）湧水の里ゆざ、NPO 法人 遊佐鳥海観光協会ホームページ
- ・関連機関：遊佐町、NPO 法人 遊佐鳥海観光協会 など